

スチューデントレコード

授業ごとに成長の記録をお書きします

※教室から各生徒さんの保護者の方へ毎月お渡ししている授業記録です。

スコール・アソカ〇〇教室 スチューデントレコード

20XX年 月 _____ くん

※このコースはメカニズムの基礎理解と応用がテーマです。対象年齢およそ5歳～10歳。(定員5名)

期日	教材・学習の目標	活動内容
月日	<input type="checkbox"/> 空に浮かぶお城 テーマ「秘密のお城を作ろう」 重点課題：構造、問題解決 教材：デュプロ基本ブロック デュプロ人形ブロック	① 公園でのあそびの中になんかものがある話を話合い、秘密のお城を作る。 ② 次のようなルールを守る 1、4人のデュプロ人形が安全に乗っていること。 2、中に入るための方法があること。
月日	テーマ「コーヒーカップ」 重点課題/メカニズム 教材：アーリーシンプルマシーン オリジナルワークシート	思い出しながら話合ってみよう。 ② オリジナルワークシートを使ってギアの仕組みについて「回転方向」「速さ」を中心に考えよう。 ③ ギアの仕組みを使って、コーヒーカップをつくらう。
月日	<input type="checkbox"/> 回して、回して (1) テーマ「ギアの仕組み、回転の向き」 重点課題：メカニズム 教材：アーリーシンプルマシーン カード6、図鑑 両用紙、はさみ、テープ	① 「クラウンギア」という不思議なギアについてワークシートを使って「ギアの組み合わせと回転の向き」の実験をする。仕組みの具体例を図鑑で探す。 ② 「クラウンギア」の仕組みを使って「カード6」の「風車」をつくる。

- ① まず、遊園地にはどんな乗り物があったかを思い出しながら話し合ってみよう。
- ② オリジナルワークシートを使ってギアの仕組みについて「回転方向」「速さ」を中心に考えよう。
- ③ ギアの仕組みを使って、コーヒーカップをつくらう。

この日は前回作ったお城をつなげ、お友達のお城に地面に降りることなく行き来する方法について考えました。まず、ネットを見て「つりばし、ロープウェー、リフト」の様子とその可動方法について勉強しました。そのご、実際に自分たちのお城をつなげていきましたが、〇〇くんはロープウェーの仕組みを利用した一本線の上を車が行き来するものを作り、お城に金の粉をまくなど、楽しく表現することができま



は前回作ったお城をつなげ、お友達のお城に地面に降りることなく行き来する方法について考えました。まず、ネットを見て「つりばし、ロープウェー、リフト」の様子とその可動方法について勉強しました。そのご、実際に自分たちのお城をつなげていきましたが、〇〇くんはロープウェーの仕組みを利用した一本線の上を車が行き来するものを作り、お城に金の粉をまくなど、楽しく表現することができました。



月日
 遊園地の乗り物で、くるくる回る「コーヒーカップ」について話合い、カードを見ながらつくりました。ギアトレインの仕組みの中で、速く回る組み合わせについて考え、オリジナルの発展させたコーヒーカップを作りました。〇〇くんの作った「ぐちゃまわりカップ」はお友達からも大評判で、予測不可能な動きをする、速いだけではなくユニークなものに仕上がりました。



月日
 クラウンギアという回転の角度を90度変えるギアの仕組みについてモデルを作り、回転の様子を観察しました。ギアの回転は、歯の数によって速さが異なります。いろいろな大きさのギアをまわすことでその様子を観察しました。また、風車の仕組みについてクラウンギアが使われていることを知り、モデルを発展させて風車を表現しました。風車はレゴの街、デンマークで多く見られ、発電や農業に利用されていることを知り、デンマークの生活にも少しふれることができました。

とで、面
 てもらい
 ャンパン
 もできる
 に対して
 話を聞いて
 品に応用